



*補助金削減方針→どんどん子どもを産まなくなる。長崎は原爆医院に力を入れて「子」にはまったく気にしていない。ますます長崎の人口が減る!!もっと魅力ある町づくりをして欲しい。

*対象を小学校、低学年ぐらいまでは引き上げてほしい。

*他県のある市のことですが、病院でもカードを出すと現金は必要なく、それを中学校卒業までしているそうです。長崎でもそれをして、もっともっと子どもが増えるようにしてもらいたいです。これ以上、子どもが減ってしまつては日本は終わってしまうから。

*大学病院などが扱われていないので、その分の書類申請しなければならないので、やはり手間はかかる。

*子どもの病気は親にとって大変な負担なのに、金銭面でもこれ以上負担を増やされると、もっと少子化が増すことになると思う。

*子どもの数が減っている中で、もう少し対象年齢をあげてほしい。

*長崎は所得が低い上に、生活費が高いのに、子どもの医療費助成制度などのような福祉に対して、どんどんカットされるのはますます住みにくい所になってしまう気がする。

*現状の制度に満足しています。継続、さらに小学生までの対象拡大を希望します。上記9の補助金減額についてもっと詳しく知りたいです。情報の公開をお願いします。

*少子化の今だからこそ、子どもを産んでみようかなという環境を作っていただきたいと思います。そうでないとなかなか子どもは増えないと思います。

*いろんなものが値上がりしている中、医療費助成制度まで変わって補助金が減額されると、負担が大きくなるので、やめてもらいたいです。

*定期的に医療機関を利用しているので、現物給付制度になって助かります。これからもより良い制度ができることを期待しています。

*子どもの調子がちょっとでもおかしいと心配なので、ちょっとしたことでも気軽に病院につれて行けるように、少しでも補助金があると助かります。

*医療費助成制度の対象年齢を上げてほしい。

*全国でこの現物給付制度を実施してほしいと思います。

*本当に助かっています。

*「現物給付制度」は当たり前にあつていいものだと思う。転勤が多く、色々な土地に住んでいるが、子どもの医療費助成に手続きが要るとは、長崎は遅れている。おかしい。

*「現物給付制度」はとても評価しています。今まではほんの少しの助成分にも多くの時間と手間がかかるし、ふり込まれるまでのタイムラグが長かった(高額になるとくに、振込が遅いと問い合わせたりもしないといけませんでした。心配になるので…)。また、不備があると申請しなさいといけなかったり、本当に手続きされたか分からなくなるし。今後も現物給付を望みます。あとカットするならもう少し年齢を引き上げてほしいという気持ちはあります(今までムダに使っていた銀行などの手数料や市の人件費の削減があるのなら…)。

*第1子が小学生になり、医療費助成が対象外となって、改めて医療費の負担を実感しました(現物給付制度ではなかったものの、申請後返還されていた)。経済的な理由で受診を見合わせる家庭にとっては、現物給付は意義が大きいと思います。可能な限り、補助金カットは少なくして欲しいと思いますが…。

*小学校入学前はよく病気をするので、この制度はとても良いことだと思います。

*子どもを育てていく上で必ずあつてほしいと思います。

*昔はこの様な制度はなかった様ですが、今は“子育て”中に掛かる費用がバカになりません。親は、子どもに対しての費用というのは、他のことなど抑えてでもどうにかしたりするものですが、できるだけ、子育て中心といい

ながらも家計に負担がかからない様、国や県や市の方で考えて頂きたいです！

*是非、今後も継続して頂きたいと思います。

*とにかく手続きが面倒だったので、現物給付はすごく助かります。ずっとこれからもお願いします。

*県が補助金をカットするのはおかしいと思う。こころネっこ運動とか言って有名人ばかりを使ってCMだけして実になることはなにもしていない。CM費を補助金にまわせば良いと思う。

*少子化と問題視していますが、子どもを一人産むのに、40万も45万もって産むたんびにお金を払っていは生活していけません。わがままなことは重々承知していますが、もう少し補助して下さい。

*とても助かっている。しかし紙なので字が薄くなったり、やぶけたりするので、カード式にしてほしい。

*医療費助成制度の対象年齢が上がればもっと助かります（無理なことだとは思いますが）。“就学前までが病院にかかる頻度が高い”ので、就学前までなのでしょうが、小学生以上になると、病院にかかりたいが医療費が高いので、もう少し様子を見よう、市販薬で様子を見よう、と病院受診が遅れ、症状が悪化したなんて方もいらっしゃるのでは？反対に就学前の子どもさんが現物給付制度で病院にかかりやすくなったと思います。

*ただでさえ少子化の時代。もっともっと子育てにやさしい日本・市町村・地域づくりが必要だと思います。なのに、補助金削減なんて最悪!!子育てしやすい町に移ります！（移りたい！）子どもの未来は長崎の未来!!

*小さい子どもは病気をしやすいので、医療費助成はありがたい制度だと思う。現物給付になって負担額が800円のみになって楽になりました。あとで手続きをとれば戻ってくると分かっているけど、一時的に負担しなければいけない金額が増えてくれば、受診を控える家庭もあると思います。また、申請の方法をよく理解できなかったり、時間がないため手続きできず、助成を受けていない家庭もかなりあると思います。皆が公平に助成を受けられるのは現物給付方式だと思います。

*大学病院でも利用できるようにしてほしいです。

*なぜもっと早くから“現物給付”にならなかったのかと思います。仕事をし、育児をし、家事をしているなか、診察後にピンクの用紙に記入して子ども課へもっていったり、送ったりとその手間がすごく面倒だとずーっと思っていましたので、*今は大変楽になり助かります。

*福祉医療費受給者証（ピンク色）をカードサイズにしてほしい。

*子どもにかかる費用は出来る限り補助していければ、少子化問題の解決につながるし、働く女性の思考などを取り入れた社会にしてほしい。

*どうして補助金を削減するのか教えてほしい。

*現在、子どもの人数が減少していると言われていています。減少している中、長崎市のような現物給付制度があれば親も助かっています。補助金減額方針をなくし、少しでも子ども達の助成制度を幅広くして頂きたいと思います。

*場所によって助成内容がちがうので、同じようにしてほしい。

*とても良い制度だと思います。ぜんそくのため病院にかかる回数が多いので助かっています。

*もう少し負担を軽くする等、まだまだ改善してほしいです。

*子どもが小さいと病院によくかかるので、全額負担になるともっといい。

*兵庫県明石市は、0歳～就学前は無料、1～3年生は1割負担で非常に助かりました。国として統一した制度を希望します。

*長崎市内以外でも実施してほしいです。

*昨年度から市で行っていたフッ素塗布もなくなり、とても残念に思っていました→是非やってほしいです！今年「現物給付制度」ができ、手続きする手間が省け、また漏れもないので、とても評価しています。

*子どもを安心して産んで育てられる体制を作ることが、今後の日本にとって一番大切なことだと思われまから、

子どもの医療費助成に国や県がお金をかけることに対して、もっと大きな心で対処してほしいと思います。

*少子化が問題になっている現在は、もっと子育てしやすい援助を国や市にお願いしたいです。

*子どもは病気しやすいので、「現物給付制度」はとても助かります。早めに病院にかかることが出来、重篤な病気になる心配が減って安心です。このまま続けて欲しいです。

*現物給付制度は保険制度と同じように全国一律を望みます。さらに、小学6年生までに年齢を拡大するように望みます。

*現金をあまり持っていない時など助かります。

*自治体・市・県・国すべてが、少子化問題等真剣に取り組んでいるのなら、法律で言う「子ども全体」に対して助成を望みます。私には高校生、中学生、園児と子どもがいます。後納金、保育料だけで1ヶ月7万以上の支払い、出費です。その上、医療費…正直キツイです。年齢に関係なく子どもは宝だと思います。

*国全体の税収や年金納入の問題も根底にあるのは少子化なので、短期解決を目指すより、長期間かけて少子化をクリアしていくことが一番大切だと思っています。少しでも子育てのしやすい環境にしたいです。

*私の子どもは喘息があり、医療機関受診が多い方です。そんな中での長崎市が導入して下さった現物給付制度は非常に助かっています。ただ県が補助金を減額する方針とのことは、正直悲しいですが、県の予算もそれだけ厳しい状態なのかなあと推測されてなりません。第2の夕張市になって欲しくないし、制度が良いことだけに、複雑な心境です。

*小さな子どもをもつと、急な病気等で病院に行くことが多く、予定外の出費になるということで、現物給付になってからは、とても助かっています。「子育て支援を！」と叫ばれているのに、なぜ、必要と感ぜられるところで、予算が削減されるのかが疑問です。子どもをもつ産む世代は、経済的に余裕があるとはいえないと思います。ぜひ存続していただきたいと思います。

*とても良い制度で助かっているが、受給者証が紙なので、保険証(社保のような)になると曲がったり、紛失がなくなると思う(診察券や保険証と一緒に保管できるから)。現物給付のできない病院があるのはおかしいと思う。どの医療機関にかかっても同じように受けられる方がより良い制度になると思う。

*国として現物給付制度をしてほしい。

*少子化なので、子どもを育てるのに安心できる状態をどんどん作ってほしい。中学校までしてほしいけど、ムリだろうから、せめて小学校までしてくれると医療費が助かります。

*この制度は利用する際に簡単でいいと思うので、続けてほしい。ただし、少子化と言われているが、各自治体での対応がバラバラだし、小学生は該当せずですべてが中途半端だ。国のバックアップもほしいが、長崎県自体生き残るアイデアが欲しい。

*小学校に上がると病気にかかる率も減り、受診日数も減ります。この制度が継続されることを願います。

*本制度に賛成、評価する。役所の処理も少なくなったのでは?その分税金の有効利用をしてほしい。

*小さい子どもがいて、保育所に預けながら仕事をしている人が多くなっているのに、請求手続きをするのは、忙しい私達に負担をかけます。子育てしながら働くのは本当に大変ですし、時間もありません。今の長崎市の現物給付は本当に助かっています。継続していただきたいです。

*入院による医療費助成が就学前までのびたのは大変助かります。欲を言えば、中学就学前までに助成制度をのばしていただきたいです。

*助成分を戻してもらう手続きがなくなったので、働くお母さんにとってはとても助かります。

*助成分の申請の手続きがなくなり、手間がかからなくなって非常に助かっている。これからも是非続けてほしい。

*長崎は子育て、生活水準がワーストなので、せめて子育て支援では全国一を目指して欲しい。

*とても高く評価しています。完全無料でなくても、この制度ならよいのではないかと思います。ただ、長崎県の

姿勢は評価できない。なぜ「補助金」減額なのか？新幹線などに多額の税金を投入する前に、市民の生活に近い所にもっと税金を有効に使うべきだと考えます。また三菱病院についてですが、重工社員は給料天引きという制度もやめてほしい。他の病院のように現物給付にしてほしいです。

*少子化問題が深刻ななか、ますます子育てしにくくなるような方針はおかしい。

*現物給付は子どもを産んでからずっと希望していました。やっと他の県並みのサービスになったと思っています。以前は市役所や支所、郵送で送って、後で振込戻りでしたが、育児中に夜中に領収書を分けたり、貼ったりして持って行くのは本当に大変でした。しかも市役所の計算間違いで、戻ってくる金額が少なかったりしていました。このまま現物給付して下さい!!

*少子化対策の一環として、このような制度をもっと広げてほしい。

*補助金をカットする前に県のムダ使いを見直した方が良い。医療費の負担が続けば「産めない（産まない）女性」が増えるだけです。

*利用者が利用しやすく、また、利用する制度であってこそ意味があるので、「償還払い制度」より、「現物給付制度」の方が良いと思います。

*現物給付は手続きがなく、楽であるが、実際の医療費がわかりにくく、安易な受診をしかねないと感じる（手続きをすれば返してもらえるので…）。

*0～3歳までは、保育園ではやった病気すべてにかかってしまい、毎月の様に病院通いをしました。その中でも命にかかわる様なこともあったのですが、入院しなかったため、個人保険の対象とならず、出費が嵩みました。働きながら育てているため、看病の時に休んだストレスでウツになりました。それでももう一人子どもを産みたいと願っています。削減はやめてほしいと思います。

*「どうしてこんな病院通いまで…」子どもが0～3歳まではよく病院に通っていました。3歳過ぎると病院通いも少なくなり（東京だったと思いますが）、3歳まで医療費を免除してもらえればもっと子育てもやりやすくなるのではないのでしょうか？

*国として実施し、日本全国どこでも皆同じように助成が受けられるようになることが公平。

*助成分を戻してもらう手続きは、上の子は現在 12 歳で病院にかかることが多く、行っていましたが、下の子（4歳）は病院にあまり行かないので、手続きをするのが面倒で行いませんでした。なので、現物給付になってよかったと思います。

*少子化の中、いろんな助成をしないと今後、国の将来も危ういのではないかと思う。この制度だけでなく、支援についてもっと考えるべきだと思う。そうしないと子どもは増えない。

*現物給付制度は他県に比べ、遅いくらいだと思う。

*対象者全員に現物給付制度を適応してほしい。

*他県では、幼児は医療費が無料のところもあるので、もと補助してほしい。

*現物給付制度になってとても助かりました。

*公立学校共済組合のため、医療機関窓口での支払いは従来通りです。忙しくてつい、市役所へ申請し忘れてしまうこともあります。直接窓口で助成していただけると大変ありがたいです。

*子どもはまだまだ病気などで通院のため、歯科に通院するので、現物給付制度、医療費助成制度の年齢制限を引き延ばして欲しいです。

*福岡では病院代も薬代も無料です。前のシステムよりずいぶんよくなったとは思いますが、長崎では無理なことなのではないでしょうか。いくら安くなっても子どもが多ければ出費もかさむものだと思います。

*子どもはすぐ病気してお金がかかるので、もっともっと補助してほしい。

*年々医療費にかかるお金が増える中、助衛生度はとても助かっている。もっと充実させてほしい。

*子どもは病気になりやすく、病院に行く回数も多いので、これからも現物給付制度を続けてほしいと思う。そういう制度があると、子どもを産みたいと思う女性も増えてくると思う。

*子どもの医療費助成制度（現物給付制度）は、大きい病院はだめなのか?!小児科しか使えないのか?!

*私たち親にとって現物給付制度はとってもうれしいことです。子育てで忙しい中、こういった制度はもっと支援されるべきだと思います。

*各県によって年齢や金額が違うので、転勤族にとっては少々わかりにくい。

*保険証と一緒にあったら良いと思うのですが…。別々に持ち歩くのは忘れがちで、結局使用しないで終わります。

*特に手続きが難しくなく受けられる制度で、子育て中としてはありがたいと思います。少子化の中、こういうことに国の補助金減額はどうかと思います。しかし、このことはあまり知られていないようなので、もっと声をあげても良いのではないのでしょうか？

*18歳未満の子どもまで対象にしていただきたい。

*県だけでなく、国として実施してほしい。

*二度手間がなくなり、良い制度だと思います。

*今の現物給付になってとても助かっています。ますます安心して子どもを育てる環境を整えてほしいです。

*補助金や助成金のカットの話をよく聞きますが、国も自治体も運営が大変な時代ともわかりますが、高齢者や障害者や子どもが関わる補助金をなぜカットできるのでしょうか？もっと違った所からのカットや増額ができないのか、よく考えて頂きたいと思います。

*絶対に削減はしてほしくない。子どもが多いと病院に行く回数も多いのに、減らされては困る。もっと子どもを育てやすい環境にしていきたい。

*将来をになう子ども達の数を増やすためにも、子どもたちにやさしい制度をどんどん作ってもらいたい。

*現代社会は働く母親が多いので、現物給付は絶対に続けてほしいと思う。また、医療費助成制度は小学校就学前までとなっているが、子どもは小学校入学後のけがや病気も多いので、小学生の間は助成してほしい。

*実施前からこのような制度になったらいいのに、と思ったので、実施となってよかったと思っていました。今回補助金のカットを知り、不思議です。理由等を知りたいです。

*私は3人目の子どもでやっと現物給付になりましたが、それも今年3月までの対象です。もっと早く実施してほしいです。残念です。

*以前住んでいたところでは現物給付制度だったので、引っ越してきたときはとても不便に感じたので、なってよかったです。

*働いていて役場に行く時間がないので、早く「市」以外でも実施してほしい。

*今まで手続きにいかないと助成がなかったので、今の現物給付制度にはとても助かっています。小さい子どもを連れてまた病院に月末行って、ピンク用紙を書いてもらうのは大変でした。3人子どもがいるうちにとっては医療費は本当に大変、もっと助成があると助かります。

*こういう制度が良い結果であれば、少子化問題の解決にもなると思います。

*少子化対策として、もっと子どもを育てやすくしてもらいたい。そのためには、医療費助成制度は大切だと思う。

*他県から転勤で来た時に医療費が無料でなくてびっくりしました。それまでは子どもが急に病気になっても、お金の心配をしないで病院に行っていました（必要なのは薬ビン代のみ）。申請をしなければ戻ってこないと知り、不便で申請したことはありません。今の方針は進めるべきで、後退は少子化対策に反すると思います。

*現在、子ども達は大きくなり、この制度には関係ありませんが、早くこうなればいいなあと思っていてうれしい

のですが、減額されるのはショックです。県は他にお金のムダ使いがないか、住みやすい県にするため、もう少し考えてほしいです。

*病院を何カ所もかかっても 1,600 円ですめばいい。

*長崎は子育てに対して年々厳しい。医療面もちろん、公立保育所の廃止、学童保育の補助も削減…。少子化になるのは県の責任もあると思う。

*大変助かっている。現金をどれくらい用意せればいいのか？ということが心配するのがなくなった。県のやり方は今の時代に逆行していると思う。

*少子化問題と騒いでいるのに反して、このような制度を減額する県、国は今一度具体的解決案を提示、実行すべき。“格差”といわれる通り、子育てによりよい環境を望む時、親の愛とやはり金銭的余裕が不可欠だ。

*とてもいいことだと思います。出来れば、小学校就学前までとはしなく義務教育の間とか小学校卒業時までとかしてほしいなあと思います。

*就学前までではなく、病気がちな小学校低学年まで、期間を延長して欲しい。

*助成制度の年齢をもっとひきあげてほしい。

*1人目の子の時はこの制度がなく、2度手間で行くのが面倒でしたが、2人目の子の時は、この制度で支払う金額も少なく、書類をいちいち書かなくて済むので大変助かっています。忙しいお母さんにとってはとてもありがたいことだと思います。

*上2人の子どもの時には、この制度がなかったので、たびたび子どもをつれて、手続きをするのが、とてもたいへんでした。今までにかなりの金額の手続き漏れがあったと思います。これからもこの制度が増えると良いと思います。

*うちの子どもは、よく病気になるので医療費がかかり大変なので、助成制度は大変助かります。また書類を書いて提出する手間がいらぬ今の制度を続けて欲しいです。

*今現在の制度が、廃止になったり縮小されては困ります。よりよい子育て環境を整備していただけると助かります。

*市の「現物給付制度」は小さなお子様がおられる家庭では非常に助かっていると思いますし、うちも現在2人いるのでとてもとても助かっています…が、来年からそれは一年生にあがりますので、医療費助成制度が打ちきられてしまいます！！。できれば小学六年生まで引き上げて頂ければ、子だくさんの家庭は、どんなにか助かるでしょう！！。子どものうちは本当、何度病院にかかるかわかりません。安心して子どもを育てられるような国であって欲しいと願っております。

*長大で利用できないのがおかしいと思います。

*少子化対策とか子育て支援とかはよく見るのに、実際は子育てがしにくい方向へといつてるのか…と実感。やっと明るいきざしがみえてきたのに、このままでは、少子化へ歯止めがきかなくなるのでは？と心配になります。

*現物給付対象年齢をもう少しあげて欲しいです。

*医療費助成制度の年齢をもう少しあげてほしい。

*公立学校共済組合も現物給付になれば、良いと思います。

*市町村によって医療費助成制度（年齢、金額 etc …も含めて）が違う現状は、とても残念です。子どもを産み育てるハード面の環境は、なるべく日本のどこでも同じであって欲しいです。また制度利用にあたっては、より利用者の利便性がよいものになるよう見直していただきたいと思います。

*他県では現物給付制度を早くから実施している自治体が多いと前から聞いていて、やっと長崎市でも実施されたと思った矢先に減額の方針とは理解に苦しみます。地方の情勢が厳しいのはマスコミ等でも報道され分かりますが、子どもに関することは今より充実しないと少子化に歯止めはかからないと思います。

*医療費助成制度の対象年齢を上げて欲しい。年々聞き慣れない病気が流行りだし、負担が非常に大きいと思う。

*一生懸命働いているのに、所得が高いということで利用できないのは納得いきません。

*とても良い制度だと思います。今迄はかなり請求もれがありました。また、後で証明書を書いてもらいに医療機関に行かなければいけないこともあり、子どもをかかえて大変でした。金子知事は反対の様子ですが、小さい子どもをかかえる母親の大変さを考えて下さい。

*後から申請する手間がなくなったのは、子ども二人かかえて大変だったことを考えれば非常にありがたい。以前住んでいた所では自己負担ゼロだったので、ゼロになるとうれしい。地域によって給付の制度や自己負担に差があるのはおかしいと思う。6才まで、自己負担ゼロという地域に住んでいたこともあるので、国として統一して、できれば自己負担を少なくしてほしい。

*県の考えに負けず長崎市にはこのまま医療費の助成は続けて欲しい。

*子育てにお金がかかるのは絶対！！なのだから、子どもを産む余裕のない家庭があつて当然で、特に長崎の所得は低いから、本当に少子化に対して真剣に考えるならば削減すべきお金は、どこにあるか、わかると思うが…。だいたい、春先になると毎回同じ所を工事している道があるがあれな何なんだっ！！。その金を回せばいいと思う。だいいち長崎の道やバスはベビーカーを押すのにふべんだ。長崎市の裏金を財源にあてて下さい。

*この制度に変わり、病院へ足を運びやすくなり母子共に大変助けられています。ありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

*病気になった場合の医療費の支給よりも、予防接種など予防医学に重点をおいてほしい。

*助成分を戻してもらふ手続きは不慣れな者にはとてもおっくうでしたが、この制度はとてもありがたい制度だと感じます。*就学前までの制度ということですが、欲を言えば小学校低学年くらいまで引き上げて欲しいです。

*小学生まで対象をあげてほしいです。

*大変良い制度だと思います!!事務手続きの手間がはぶける上、手続き漏れがなくなり助かっています。

*小学生のインフルエンザ予防接種の接種料を助成してほしいです。かかりつけの小児科だと1回3500円、2回で7000円かかります。内科ですともう少し安いですが、小さいうちは小児科が安心です。私は他県出身ですが、小学生の頃は希望者が*学校で1回700円ぐらいで受けていました。

*3月迄で対象から外れますが、とても助かりました。是非、この制度は続けてほしいです。

*現物給付制度になり、手続きがなく助かっている。今後県からの補助金が減額は出来ればして欲しくない事なので、予算的なものか、どうしてなのか理由が納得出来るような説明が欲しい。



*医療・福祉面の予算をカットするより、例えば新幹線をやめればいい。新幹線で何百億赤字になるのか！！県も破たんしそうなのにきりつめるべきところをまちがっている。申請しなければ補助を受けられないのではなく、医療現場などを通じて自動的に手続きが終えている、そういうスムーズな流れも作っていくべき。

*医療費がかからなかったり、市町村によってはもっと充実した助成制度を実施しているところはたくさんあります。長崎市もまだまだ見直すところはあると思うので、改善しながら制度の向上を目指してもらいたいです。

*私は主人が公務員のため「現物給付制度」の対象ではありません。私のような方は他にもいらっしゃると思いますが、出来れば皆、平等に制度が出来れば助かるかなと思います（私は残り1年だけなのですが…）。

*現物給付制度は、今までみたいな面倒な手続きがなく、助かっている方は多いと思います。県全域で実施してほしいです。

*せめて小学生までを対象となるよう希望します！

*とてもいい制度と思うが、長崎の経済を考えるとそんなに給付をしていいのか？と思う。

*医療費の助成をしていただけるのなら、特に現物給付でなくてもかまいません。

*少子化対策、子育て支援対策が進められる中、逆行しているのではないか？。本当に必要な費用が削られるのはおかしい。もっと削るべきところは他にあるのでは？。

*かかりつけは市外な為、対応されていません。役所に1回1回行くのは面倒。無料にして下さい。

*他県では診療代も無料みたいなので、無料とまでは言わないが、出来ればどの科に行っても全体で月1,600円にしてほしい。

*長崎大学病院でも「現物給付」を行ってほしいです。緊急な時に受診することが多いため、高額に請求されるので…。

*財政を考えると仕方ないのかもしれないが、子育てのためのカットは少子高齢化をもって深刻に思う。沢山子どもを生める環境が必要です。私も3人目が欲しいが、頭をよぎるのは、いつもお金の負担ということです。

*国や県は大切な医療費は安くするべきだ。もっと医者になれるよう学費や医学の制度を改善してほしい。子どもたちの未来が不安である。

*妊娠時、母子手帳配布の際に制度について考えるべきです（私は知らず、損したなあと思っているので）。

*歯科矯正をもっと安くしてほしい。

*子どもは保育園や小学校と、団体生活の中でケガや病気をもらってくるので、病院に通うことが多く、福祉医療費受給者証がとても助かっています。なかったら、かなりの医療費を払うことになり、生活の負担になり苦しいと思う。

*公共共済も適用してもらいたい。

*現物給付は、助成金が少し戻ってくるのですか？それは知りませんでした。子どもが小さい時、病気をしてもお金がかかるので、がまんさせたことがあり、この制度ができて、すぐつれていけるようになり、本当に助かっています。

*長崎大学病院も受診する時があるので、現物給付制度にさせていただくといいなあと思います。

*少子化と言われている割には、現物給付制度の実施が遅かったと思う。私としては、せめて、小学校までは現物給付制度をお願いしたいです。ケガなど多くなる年齢だと思うから。

*現物給付制度の方が利用しやすいので、継続していただきたいです。

*福祉医療費受給者証がペラペラの紙で、印字がうすくて病院で読みにくいと言われたので、もう少し、しっかりした紙でつくってほしい。最初「ピンク色出して下さい」と言われないと出さなくていいものなのかと思い、出していなかったら、金額が高くなって薬局の方で教えてもらった（払い戻してもらったことがある）。

*子育ては忙しくて、書類を書くのも大変だし、市役所にもわざわざ出かけなくてよくなったので、良かったです。小児科にかかる時も急だったりして、窓口でいくらか分からない時は、手持ちのお金で足りるか不安だったりしたけど、今は800円さえあれば、支払いもできるので、本当に助かっています。

*市内全部（夜間を含む）で実施してほしい。生まれつきや手術が必要な時、後払いをやめて、はじめから、補助金をひいた額を払いたい。

*うちは2人とも喘息をもっているんで、毎日薬を飲んでます。定期的に病院へも通っているんで、今の制度でとても助かっています。

*現物給付制度を実施しなければ補助金が出るんだったら、その方が良いと思います。手間はかかるけど、しょうがないかなと思います。

*「少子化対策」と言っている割には、本当の意味での育てやすい環境にはなっていないと思うのに、補助金を減額するとか、逆だと思います。

*子どもの医療費は無料にしていきたい。

*現在は、対象者が「小学校入学前」ですが、小学生までの間、助成制度が実施されるようになってくれたら嬉しいです。

*子どもの医療費にはとてもお金がかかる。売薬等では子どもの病気は治せない。県はもっと現物給付制度に理解して子育てのしやすい長崎県にすべきだと思う。“子は宝”これから長崎県を背負っていく未来の県民のために充実させていくべきだ。

*子どもはよく病気をします。病院での医療費も大人より高い気がします。子どもが健康に成長するのを手助けするのは国、地方自治体の義務だと思います。

*このアンケートで他県の例もあげ、現物給付について実現できればと声をあげていたのも、貴会には、とてもありがたく、これからもできることは協力していきたいと思っています。他の地域に比べ、長崎はとても遅れているように感じます。私達一人一人が働きかけて、子育てしやすい“ながさき”を作っていきたいです。貴会のご活躍を期待しています。

*少子化対策の1つとして、医療費助成制度は大事な事だと思います。

*忘れてしまう事もあったので助かっています。県内すべてに早く実施して欲しいです。

*このような制度が地方によっては、まったく違うのがおかしい。なぜ同じ国に住んでいて、住む場所によって支払う額が違うのか？

*医療費もですが子どもを育てる上で本当にお金はかかるものです。私も3人いますが、結局小学以上はこれもなくなくなります。学生からもっとかかるので無理な事は分かりますがせめて小学校卒業までだったらどんなに助かるか(入院代もふくめ)と思います。少子化で問題になってますがこういった小さな事でも親は大変だと悩むものです。もう少し子どもを産んでも安心な市や町にしていだけるといいですね。

*市の財政が苦しくなったので就学前の子どもにしわ寄せができてるのではないのでしょうか。「子どもをたくさん産み、育てなさい」と言うのなら、補助金をカットするのはおかしいと思います。

*子どもがたくさんいるので、とてもたすかっています。

*現在通院の場合は就学前の子どもまでになっているのが、小学生低学年(3年生位)の頃も、何かと病院にかかる事は多いと思うので、年齢制限を、もう少し引き延ばしていきたい。

*他県に比べて自己負担金が高いので、もう少し安くしてほしい。

*小学校3年生くらいまで現物給付できるようにのばしてほしい。

*小児は病気することが多く、病院へ通院したり入院したりすることが多いので現制度には大変助かっています。どうして補助金を減額しなくてはならないのか知りたい。

*現物給付制度により、手続きを行わなくて良くなったので、助かったなという感じです。少額の際は手続きをしない事もありましたので…。仕事等で多忙な方など助かっている制度だと思います。ただ、この制度を行う事により、自治体の運営が大変だと文書を読んだ事もありますので、その場合は今まで通りでも仕方ないと思います。(償還払いでも)

*小学生を対象にしてほしい。低年齢の子はもっと低い金額で設定してほしい。

*老人を含め、大人ばかりの社会になってしまい、子どもにとっては生きにくい日本になりました。高齢者の医療については国をあげて優遇しているのに今まで医療費の高い子どもや、高額療養者に対してはあまりにも事務的につめたいと思っていたので、現物給付制度はうれしかったし助かりました。ピンク色の受給者証は少し大きすぎると思うのですが、保険証サイズにならなかったことには理由があるのですか？不思議に思っています。

*長崎県、市の財政が非常にきびしいのは知っているが、補助金がカットされるのは知らなかった。現物給付制度はたすかる。

*子どもはよく病院にかかるので医療費がかかりすぎると満足な治療がうけられなくなり困ってしまうので、今とても助かっています。

*小さい子がいると償還払いの手続きは大変です。少額だったら駐車場代を払ってまで手続きするのはためらわれます。現物給付制度はとても良いとは思いますがどんな理由で1億円の補助金カットがなされるのか知りたいです。これからの少子化時代に子どもを沢山育てたくても経済的にままなりません。子育てに（教育等）かける補助金はカットしないで下さい。

*小学校入学前まで、県が医療費を全額負担してもらえるようになって欲しい。少しでも負担（自己）を減らしてもらえると子どもを安心して産める環境になると思います。本当は3人目が欲しいのですが、お金のことを考えると産む勇気がありません。

*実施されている他県から来たので今まで手続きが面倒でほとんどしていなかった。制度導入は遅すぎでは？

*ピンク色の受給者証が大きすぎて困った。カード程のサイズにしてほしい。

*一定の人達への現物給付ではなく、現物給付するなら全児童平等にしてほしい。保険証の種類で差別しないしてほしい。

*地方職員共済でも現物給付にしてほしいです。

*病院に行きやすくなりました。いろんな書類を後で提出する手間もはぶけるし、冬など病院に通うことが重なった月は今まで出費が多かったのですが、今は1,600円まで払えばよいだけなので家計も助かります。（1度支払って後で戻ってくるというのはやはり、面倒です。）

*受給者証が大きいので持ち歩くので不便です。0才から6年間も使用するとボロボロになりそう…。

*子どもを連れて役所へ手続きに行くのは大変で負担でした。現物給付制度はとても助かるし、当然の制度だと思う。県は申告、手続き漏れをねらっていると思う。こういう県では良い子育てはできないし、少子化もあたりまえだ！！

*旧方式は申請書を出すのが面倒で、結局助成金を受け取れないことがあったが、本来は全ての該当者に行き渡るべきだから新方式が妥当。新方式の倍ぐらい？の金額が必要になるのかもしれないが、それが医療費助成制度の本来の形であって、今までの、まだ正しく整ってなかっただけだと思う。県は元に戻すよう圧力をかけて少子化に増す増す拍車を掛けているように思われる。補助金を削減するなら、年度末に始まるしなくてもいいような道路工事なんかどうだろう。

*「現物給付」は、子どものいる家庭にとって、大変便利です。これからも続けて下さい。

*現物給付制度の制度について説明不足。6才の年齢だと小学生と思われることもあり、病院側も現物給付制度のシステムをとりいれているかどうかの区別もつかない。

*大都市では自己負担がなしのところも多いので、長崎市も自己負担ゼロになるように検討してもらいたい。

*年齢を上げて欲しい。できれば中学生まで。

*こういう制度を充実させないと少子化問題は、少しも改善されないとします。

*窓口に行く時間がなかったり、わかりにくかったりするので、現物給付が望ましいと思います。

*子どもを育てている人達にとっては、とっても有り難い制度です。職業ではなく、年収による対象者の助成枠を作って長く続けていただきたいです。

*現物給付制度を利用することで、わかりやすく正確に助成分を受け取れるので助かっています。

*現物給付をしている医療機関と、していないところとあるので、結局助成分を戻してもらおう手続きをしないといけないので、すべての医療機関で同じにしていきたい。

*現在の就学前までという制限をもっと拡大してほしいです。